



川口市議会議員

いかり

まちづくり
街、創る職人

康雄レポート

RIKKEN
MINSHU
号外立憲民主
The Constitutional Democratic Press

立憲民主編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-12-4 ふじビル 3F
TEL. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net http://cdp-japan.jp/

議会制民主主義の危機！

川口市議会 議事録を多数決で削除

平成 30 年 12 月 13 日（木）、碇康雄が一般質問の中で「川口市政に関するアンケート」（美術館建設検討について）の結果を紹介しました。これに対し、自民党会派の議員が「根拠が薄い」などと主張し、議事録から削除を求めました。それを拒否したところ、「発言の取り消しを求める動議」が出され、多数決をもって可決されました。

議会制民主主義の大原則は、議会は「議論の場」ということです。さまざまな意見・情報が議場で示され、議論の中で合意が形成されていくのが議会のであり、こうした過程が、市民の眼に触れる事によって、世論が形づくられるものです。

多数決による議事録削除は、こうした基本原理を根本から否定する暴挙であり、川口市議会の歴史に大きな汚点を残すものとして、強く批判されるべきものです。

1. 多数決で 発言を削除

この日、市立美術館の建設については、広範な市民の声を聞きながら検討を進めるべきであるという趣旨で発言しました。今回の質問は 8 項目からなり、8 項目目を終了する間際に、自民党会派所属議員から「議事進行※」の声がかかり、議事が中断しました。碇康雄の質問のうち「市立美術館の建設検討について」の中で、紹介した市政アンケート結果について報告しましたが、このアンケートにかかわる部分の削除を求めるものでした。

もとより削除する理由はないので、この要求を拒否したところ、「発言の取り消しを求める動議」が提出され、この動議は自民・公明・無所属議員の一部も賛成多数で可決されてしまいました。（アンケートの概要については 2 頁参

照、質問内容及び削除部分については 3 ~ 4 頁参照）。

2. 根拠薄弱な「取り消しを求める動議」

（1）アンケートの信憑性について

この動議の理由として「そもそもアンケートの信憑性についてはつきりせず、サンプル数等についてもうかがい知れない」とされています。

このアンケートは、約 5,000 名の市民に協力を依頼し、回答をいただいた 800 名を超える皆様のうち「知っている」という回答が 4.5% であったことは事実であり、ここに「信憑性」の議論が入り込む余地はありません。

「川口市議会質問 多数決で削除
市美術館建設をめぐり」

※会議の進行について、要望等があるときに使われる議会用語。

さらに、「サンプル数等についてもうかがい知ることができない」とされていますが、発言の中で、「約 5000 名を対象」「回答率は 15.7%」と述べてあります。

「美術館計画巡り 発言削除を動議
川口市議会一般質問」
「埼玉新聞」2018.12.14

(2) 断定的な発言になっているか

発言削除を求める理由として「根拠の薄い数字をもとにいかにも正しい回答のように断定的に議員が発言するのは道義的に見ていかがかと思うこと」とされています。

今回の私の発言は、独自調査の結果を報告しているにすぎず、その結果に基づいた解釈を述べているにすぎません。発言録のなかで「この結果から」と限定していることからも明らかです。また、仮に「断定的」であったとしても、その部分についての修正を求めればよいのであって。アンケート結果に関する全部を削除することの理由にはなりません。

(3) 「数字が独り歩きすること」について

さらに、削除を求める理由として、「客観

性を欠いた数字が独り歩きすることは議会としてあってはならない」とされていますが、この数字については、800 名を超える方の回答という「事実」に基づいたものであることは、すでに述べました。このどこに客観性が欠けるといえるのでしょうか。

議会は議論の場です。多様な意見、情報が議場で示されるなかで、市政についての理解が深まり、政策が形作られる場であって、「数字が独り歩き」することを理由に、発言の削除が認められれば、いかなる数字も議場で述べられなくなってしまいます。

「市議の質問内容 動議で取り消し
川口、美術館建設巡り」
「読売新聞」2018.12.15

3. 議会制民主主義の危機

以上の通り、「発言の取り消しを求める動議」は、充分な根拠を持っておらず、削除の範囲も不必要に広いものであって、発言の自由が最大限に尊重されるべき議会のとった行動としては、きわめて大きな問題を含んでいると指摘せざるを得ません。

「市政に関するアンケート」について

- ・このアンケートは、「市民の声を把握し今後の市政に反映するため」（アンケート依頼状）に、川口市議会議員である碇康雄から川口市民約 5,000 名（公職選挙法の手続きに従い、市内有権者から無作為に抽出）に対し、郵送により調査票を配布・回収したものです。この調査は、今年 11 月に実施したもので、交通、住環境などについての設問のほか、ごみの収集への移行についての意見、市議会の在り方についての意見などを尋ねています。調査票の作成、発送・回収にかかる費用等は、政務活動費を活用して実施しています。
- ・調査の結果は、12 月 13 日時点で、826 名から回答があり、回答率は 15.7%。たくさんの方々からご回答をいただいたことに大して、深く感謝するとともに、いただいたご意見をしっかりと市政に反映させていきます。

○ 一般質問の内容（下線は、議事録から削除された部分）

4. 市立美術館の建設検討について

グラフは、議場で配布しようとした資料(議長により不許可)より

美術館の設置については、60万都市に「あってしかるべき」という意見がある一方で、その設置、運営・維持管理、また収蔵品の購入に、どのくらいの費用がかかるのか懸念もあります。現在、「川口市美術館基本構想・基本計画審議会」が設置されており、検討が進んでいます。これまでに、審議会が3回開催されました。そこで、審議会での検討状況について、お尋ねいたします。

(1) 現在の検討状況 現在の検討状況と今後の検討スケジュールを示してください？

(答弁) これまで川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会を3回開催し、市民ニーズを把握するための市民アンケート調査の結果や関係団体等のインタビュー結果を報告するとともにアートギャラリー・アトリアの現状と課題、川口市美術館をめざす姿など美術館の基本方針について審議をいただきました。今後も引き続き、本市に求められる美術館の役割を十分にご審議いただき、今年度内に基本構想の素案、平成31年度に基本計画案の策定に向け、進めてまいりたいと考えています。

(2) 建設・運営費用の見込み 美術館の設置には、建設費、維持管理費、収蔵品取得費がかかると考えられますが、それについて、現在の見込みについてお示しください？

(答弁) 今後、川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会において、本市に求められる美術館の建設コンセプトや展示方針、収蔵方針などの検討を進めていくとともに、他市の状況などの参考事例調査結果を参考に、本市の美術館に必要な建設費や維持管理費などの概算費用の算定について、ご審議いただく予定です。また、厳しい財政状況を勘案し、既存に市有地等の活用も踏まえ、建設地候補についても、慎重に検討して参りたいと考えています。

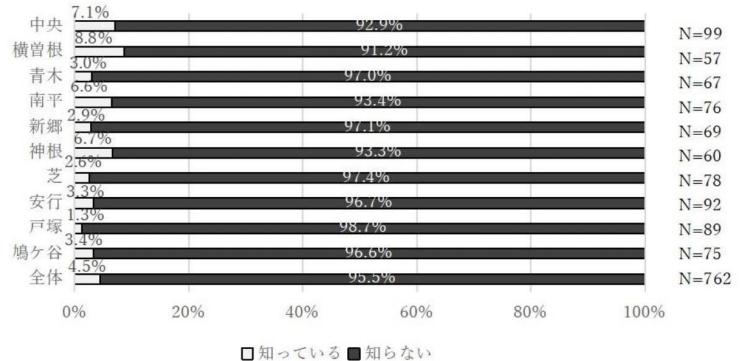
審議会での審議の途中でもあり、いまだ明確な方向性が出ていないようです。今後、議論が深まるところを期待するとともに、私が、この11月に実施した「川口市政に関するアンケート」から、市立美術館設置について、市民の声を紹介いたします。なお、このアンケート調査は、川口市在住の有権者の中から、任意に抽出した市民約5,000名を対象に実施したもので、回答率は現段階で15.7%となっています。

まず、美術館設置に向けての検討が進んでいることについて、「知っている」との回答が、4.5%、「知らない」と回答が95.5%で、大多数の市民が、美術館設置について「知らない」のが現状です。検討が始まってから、比較的日々浅いこともあるかもしれません、少なくとも市民の理解を得ている状況にはありません。

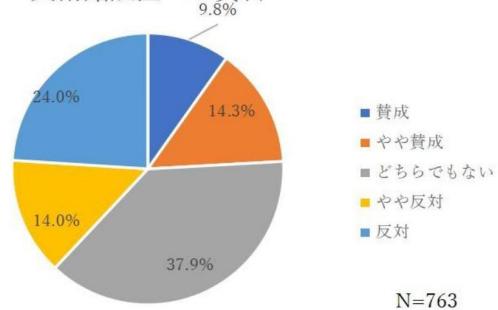
なお、地域別にみると、「知っている」との回答が最も多かったのは、横曽根地区の8.8%、次いで中央地区の7.1%となっています。一方、「知っている」との回答が最も少なかったのは、戸塚地区の1.3%、次いで芝地区の2.6%となっています。地区ごとに違いがあることがうかがわれます。

美術館設置についての賛否を聞いたところ、「賛成」が9.8%、「やや賛成」が14.3%、「どちらでもない」が37.9%、「やや反対」が14.0%が、「反対」が24.0%となっています。美術館設置について検討していることを「知らない」と回答した市民が多かったため、「どちらでもない」と回答した方が最も多く（次頁に続く）

美術館設置検討の認知



美術館設置への賛否





いかり
康雄

50年先の 川口の創造

市民が「主役」の
まちづくり

(前頁から続く)

なっていると考えられますが、全体として「反対」の声が多くなっています。

さらに、美術館設置のためにどれくらいの額の支出を許容しますかと聞いたところ、「0円」が56.5%、「1,000円程度」が25.5%、「3,000円程度」が6.3%、「5,000円程度」が6.1%、「1万円程度」が4.5%、「2万円程度」以上が合わせて1.2%でした。この結果を川口市の有権者数に当てはめて、全市的な支出許容額を試算すると、約7.2億円にとどまることになります。

この結果から、市民の間で、美術館を設置して欲しいという声が大きいとは言えません。少なくとも、市民の間での認知が進んでいないことがうかがわれます。

今後、これまで以上に、幅広い市民の声を聞きながら検討を進めることができます。近年の財政状況から、川口市は、実施したい事業のすべてを実施できる余裕はありません。「選択と集中」の考え方を持って、真に必要な事業に絞っていくことが必要です。そこで、提案いたします。基本計画がまとまり、コンセプトがはっきりし、建設・維持等に必要な予算が明らかになった段階で、市民投票を行って、市民の意向を問うてはいかがでしょうか。

【経歴】

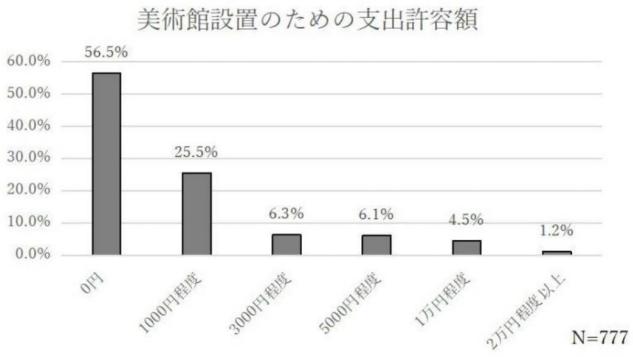
昭和38年 川口市生まれ（55歳）
昭和51年 川口市立芝南小学校卒業
昭和54年 川口市立芝中学校卒業
(テニス部所属)
昭和57年 埼玉県立浦和高等学校卒業
(柔道部所属、柔道二段)
昭和63年 早稲田大学政治経済学部卒
(地方自治を学ぶ)

卒業後、民間シンクタンクに研究員として勤務。環境・まちづくり分野の事業を担当

平成5～16年 カナダ・アメリカに留学。ヨーク大学環境学研究科(M. E. S.=環境学修士)。
北イリノイ大学政治学研究科(Ph. D=政治学博士)

平成17年 帰国後、民間シンクタンクに復帰。

平成27年 川口市議会議員に当選。現在1期目。「環境・文教・経済常任委員会」「子育て・教育環境向上特別委員会」所属。



川口市政を変える活動に参加しまか？ ～ボランティア登録のお願い～

- (1) ポスターを貼ってください
- (2) ポスティングボランティア募集
- (3) お知り合いへのご紹介

ご協力いただける方は、ご連絡ください

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

いかり やすお
碇 康雄
平成30年(2018年)12月
〒333-0866 埼玉県川口市芝2-5-24
TEL: 048-268-2696
FAX: 048-437-5585
Email: info@ikariyasuo.com
HP: http://ikariyasuo.com